

人間力を醸成していく飯田型キャリア教育の全体像（イメージ）

R4.6月改正 R5.1月一部修正 飯田市教育委員会

【事例③】飯田東中学校

■持続可能な学校生活・丘の上に

- ・2年次にSDGsを知り、自分たちの生活にも関係があることを知る。
- ・並木作業や町内清掃の現状に対する不満や不安を例に、東中学校と飯田市は持続可能か問いかけると74%の生徒が難しいと回答した。
- ・数値的には悲観的な回答が大半を占めたが、何とかしようと希望を抱く生徒は多かった。そこで「問い」を設定し、公民館主事に情報を求めさらに町歩きで情報収集した。

■「持続可能な学生会」をテーマに

- ・3年次に入り、SDGs中間発表会を開き具体的な活動案を示し、他の委員会に所属する仲間から意見を求めた。

○SDGsの観点を意識し、地域のまちづくりに目を向けることが、学生会活動の意味付けにつながると実感。



【事例①】私立千代保育園

■中山間地の自然を生かした保育

- ・近くの山を散策し、お気に入りの葉っぱを取って歩き、保育士が目玉を付けてみようというシールを手渡すと…

「顔になったあ」と大喜ぶ園児たち。

■自然保育日誌の蓄積[A4一枚]

- ・活動、ねらい、子どもの姿、考察が写真と一緒に紹介されている。



【あぜ塗り】



【評価】

＝教育ビジョン＝ 地育力による 未来をひらく ころ豊かな人づくり

先行きを見通しにくく、変化が激しいこれからの時代において、地球規模で課題をとらえて物事を考えられるような広い視野と、生まれ育った地域に誇りと愛着を抱く心を併せ持つ、

【子どもにとって】 自らの生き方を主体的に切りひらき、人とつながりあって生きていく力を育む

【地域にとって】 これからの地域づくりを担ったり、支えたりする人を地育力で育み、持続可能な地域にしていく

<ポイント> 子どもの主体性、創造性、社会性、協調性、課題解決力などを育む学習の展開

◇子どもたちが、地域の人や資源と関わりながら、実体験をともなう協働的な学びを行える場をつくる

◇子どもたちの発達段階に応じた系統的な学びを、地域、事業所、教育・福祉機関、行政が目的を共有し、それぞれの役割を發揮しながら、協働して支える

◇行政は、子どもの学びを支える多様な人や資源をつなげるコーディネート機能を果たす

※左下は幼稚園・保育園等の実践を示し、右上がりのキャリア形成上に小学校や中学校のキャリア教育実践があり、右上が高等教育機関を含む高等学校の実践を表す。

飯田型キャリア教育（人材育成プログラム）構築のイメージ

～豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」プログラム～



子どもたちが自分事として取り組み、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりして、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につなげる。

【カリキュラム・マネジメント = 縦・横のつながり】

地域の魅力や子どもの実態を把握し、教育課程を教科等横断的な視点で組み立て、評価・改善しながら系統的・組織的に地域人の育成を図る。

◆総合的な探究の時間(質の高い探究)

- 地域協働型探究活動(PBL型探究活動)
- 社会的な課題を仲間と協働し解決に向け取組む
- 探究過程の高度化、探究の自律的な学び
- 科目「課題研究」、「探究の時間」等

<探究活動> (例: OIDE 長姫高校)

地域を学びのフィールドにした学習「地域人教育」を展開。住民と一緒に地域の課題や魅力を発見し、解決と魅力発信している。

<探究活動> 地域参画

地域のために行動・貢献する

[地域素材の視点: ○●●●●]

◆総合の時間・特別活動(キャリア教育の要)

- 職場体験活動(事前事後学習)、福祉体験、キャリアフェス、生徒会活動等
- 起業体験、オンラインPJ(withコロナ)

■「小中連携・一貫教育」…H23年度スタート

- 義務教育9年間を見通した連続した学びの「縦系」
- 「飯田コミュニティスクール」…H29年度設置
- 地育力を活用した地域と保護者の力を結集する「横系」

キャリア・パスポート

<結びジュニアリーダー育成講座:年6回>

- 市内9校13名で構成

<職場体験> 体験の経験化

地域とつながり、関わる

[地域素材の視点: ○○○●●]

◆生活科・総合の時間

- ふるさと学習、宿泊体験活動、職場見学、児童会活動、環境学習等

<ふるさと学習> 体験の言語化

地域について学び、考え、伝える

[地域素材の視点: ○○○○●]

探究アドバイザーとの出会い(地域の先生)

探究アドバイザーとの出会い(地域の先生)

◆遊び

- 動物飼育、作物栽培、自然保育

園小連携推進委員会

<遊び・生活科> 遊びの学び化

地域を散歩する・体験する・浸る

[地域素材の視点: ○○○○○]

知的好奇心「なぜ? どうして?」

飯田市の特色

地育力(ちいぐ): 飯田の資源を活かして飯田の価値と独自性に自信と誇りを持つ人を育む力

◆公民館活動が充実している飯田市では、地育力を活用した「ふるさと学習」や「キャリア教育」を推進している。その中で、「ふるさとを愛し、ふるさととともに生きている自分を見つめ、ふるさとの未来と自分の夢を主体的に創造していくことのできる子ども」の育成を目指している。

※地域とのかかわりは、岩本悠氏(一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム共同代表)の講演内容参考

様々な教育活動を通じ、人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力を育成

地域・社会(地域をつなぐ)

【例】地域学習素材から発展する探究事例: ○蝶に興味(幼保)~○蝶の採集や生態(調べ学習)[小]~○農業体験(自然に携わる方との出会い)[中]~●環境問題の調査・提言[高] ~スパイラルに進行していく

園・小・中・高が一貫した理念で飯田型キャリア教育を推進し、産学官が協働することで持続可能な社会づくりの担い手である人材育成につなげる。

各学校段階におけるキャリア教育推進の主なポイント(文部科学省)

小学校

働くことの大切さの理解、興味関心の幅の拡大等、社会性、自主性、自律性、関心意欲等を養う

中学校

社会における自らの役割や将来の生き方、働き方等を考えさせ、目標を立てて計画的に取り組む態度を育成し、進路の選択・決定に導く

後期中等教育

生涯にわたる多様なキャリア形成に共通して必要な能力や態度を育成し、これを通じて勤労観・職業観等の価値観を自ら形成・確立する

高等教育(大学・専門学校)

学校から社会・職業への移行を見据えて、自らの視野を広げ、進路を具体化し、それまでに育成した社会的・職業的自立に必要な能力や態度を伸張・深化させる取組を教育課程の内外で充実

【事例④】飯田女子高等学校

■Eクラスは放課後と土曜日を使い、独自の探究的な学びを通じて視野を広げ自分たちの本当にやりたいことを見出そうとしている。

・高森町熱中小学校の皆さんと年間を通じた蕎麦栽培。収穫した蕎麦粉は地元素材を生かしたガレットにしたい思いに共感してくれた信州伊那谷ガレット協会南信州支部で活用し商品化へ。

[そばの成分検出] [MONDO 訪問・打合せ]



【事例②】竜丘小学校

■自主的に取り組むたんぼ学習(5年)

- ・役割分担、サイクル、アドバイザー
- ・初まき→育苗→田植え→生育観察→稲刈→脱穀→収穫祭→修学旅行

○あぐりの田んぼ学校(食育G)

○市美博学芸員

○JA女性部

■鶯流峡復活プロジェクト(6年)

- ・サイクル、失敗と達成感、将来へ
- ・天竜舟下り→竹の除伐→課題設定→タケノコ収穫→メンマ作り→竹筏遊び→ラベルデザイン→販売

メンマ製造会社、広告関係者、公民館、地域住民

